

## 鳥海柵の主・安倍宗任



安倍頼良(頼時)の三男。別名は鳥海三郎。前九年合戦では、兄・貞任や藤原経清と共に戦い活躍しました。

安倍氏は厨川柵で滅びますが、宗任は降伏し捕虜として都に連行されました。その後、源頼義の任国・伊予国に配流されました。治歴3年(1067)伊予国から大宰府に再配流となりました。

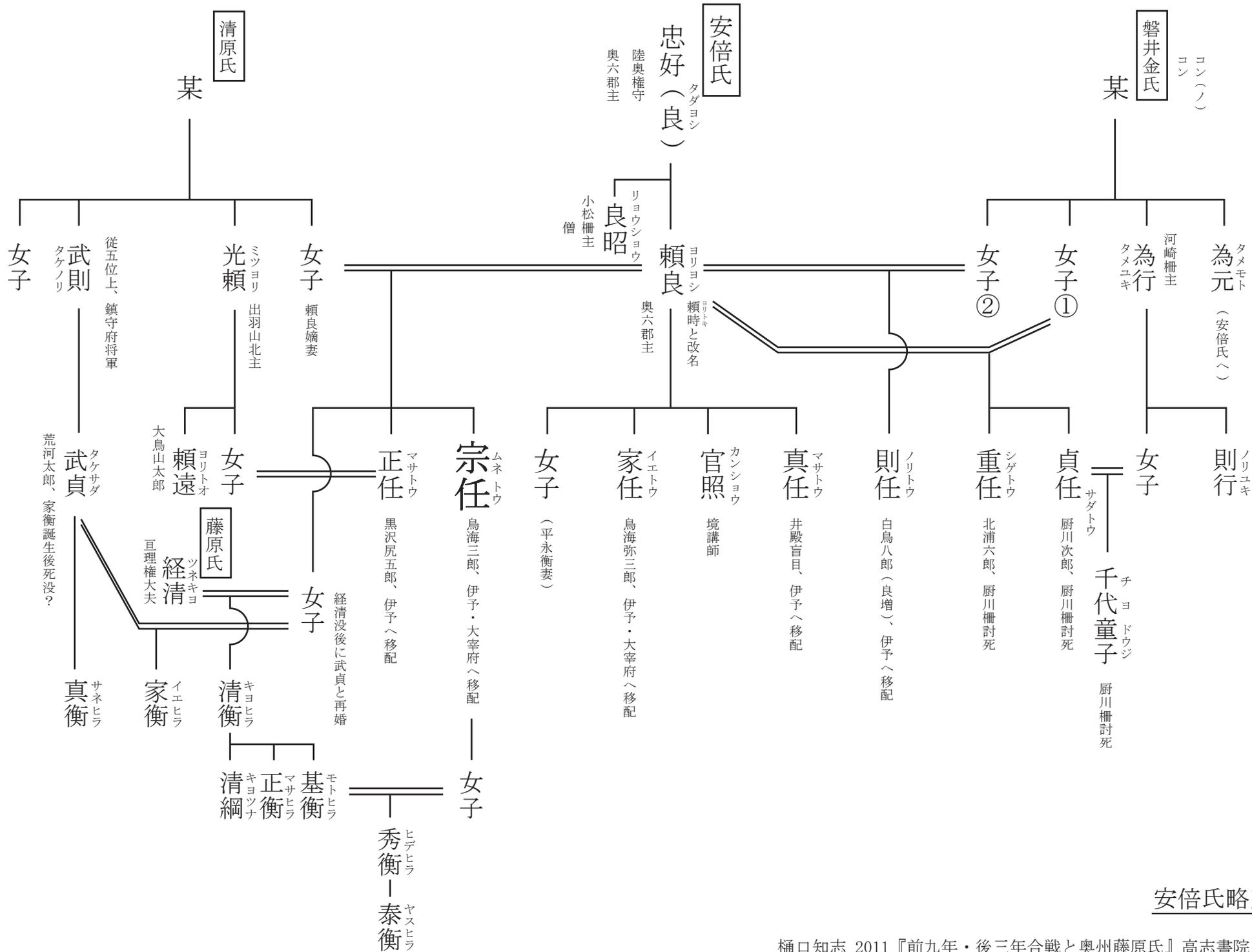
配流地には諸説ありますが、大宰府管内の筑前大島説が有力です。筑前大島では、伝宗任建立の安昌院があり、記録では宗任は、嘉承3年(1108)に77歳で死亡とされます。

宗任の娘は、藤原二代基衡の妻で、三代秀衡の母です。また、観自在王院を建立しました。



上：福岡県宗像市大島安昌院にある安倍宗任の墓

下：梅の花を見せられた宗任が和歌を詠む場面「北梅の図」一ノ倉邸所蔵



安倍氏略系図